

報道関係者各位

平成 22 年 6 月 3 日
住信 S B I ネット銀行

～ エコに関する意識調査 ～
「エコを実践している」82% その理由「節約のため」70%
～ エコなイメージの芸能人 第1位はオードリーの春日さん～

住信 S B I ネット銀行株式会社 (URL : <http://www.netbk.co.jp/>、本社 : 東京都港区、代表取締役社長 : 田中嘉一、以下「住信 S B I ネット銀行」という) は、6 月の環境月間にちなんで、「エコに関する意識調査」を住信 S B I ネット銀行を利用する全国の 20 ~ 60 代のお客さま約 100,000 人に実施し、3,124 人より回答をいただきました。

***** アンケート結果概要 *****

「普段からエコを実践している」82% 60代では90%

普段からエコを実践しているかたは 82% でした。その目的をうかがったところ、最も多かった回答は「節約のため」で 70%、続いて「環境保全のため」で 68% でした。

エコな取組み No.1 は「不要な電気はこまめに消す」

ご家庭での取組みとして最も多くのかたが実践しているのは、「不要な電気はこまめに消す」(85%) でした。2 位は「ごみはきちんと仕分けて捨てる」(81%)、3 位は「洗剤やシャンプーは詰め替えのものを購入する」(75%) となり、手軽に実践でき、なおかつ節約にもつながる取組みに人気が集まりました。

エコと聞いて連想する芸能人 第1位はオードリー春日さん

エコと聞いて連想する芸能人第 1 位になったのはオードリーの春日俊彰さんでした (回答者 218 人中 21 人)。その理由をうかがってみると、「ものを無駄にしないから」、「節約を徹底しているから」といった意見が寄せられました。続いて 2 位は松居一代さん (同 14 人)、3 位は加藤清史郎さん (同 13 人) という結果になりました。

今回の調査では、実に 8 割以上のかたが普段からエコを実践していることがわかりました。その理由は「節約のため」が 70% で最も多くなり、「環境保全のため」の 68% を上回る結果となりました。多くのかたが実践しているエコ活動の上位に、節約につながる取組みが多く見られたことも、エコの実践が節約目的であることがうかがえます。

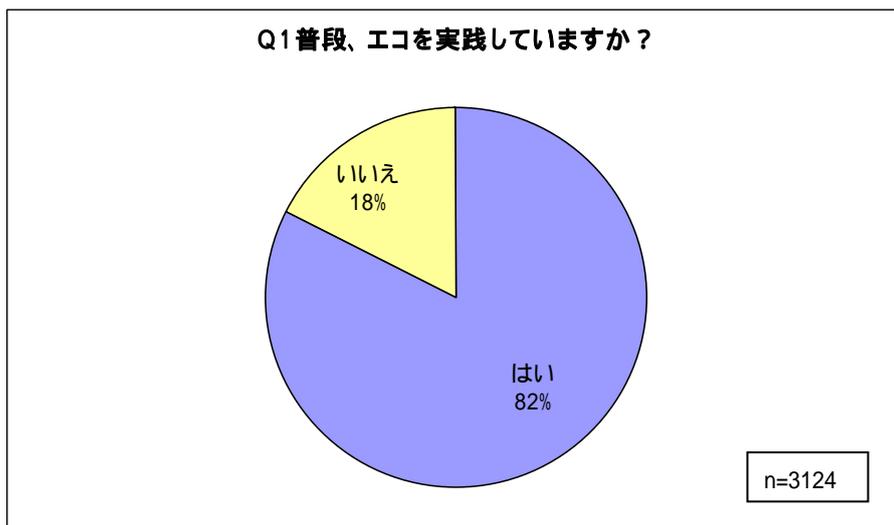
【アンケート調査概要】

調査期間	2010年5月25日(火)～5月28日(金)
調査対象	住信SBIネット銀行を利用する20～60代の個人
調査方法	インターネットアンケート
調査地域	全国
調査実施数	約100,000人(各世代約20,000人ずつ)
回答者数	3,124人 内訳(20代:314人 30代:515人 40代:629人 50代:880人 60代:786人)

調査結果抜粋

普段、エコを実践していますか？【単一回答】

ここでいう「エコ」とは、環境にとって良い行動のことを示します。

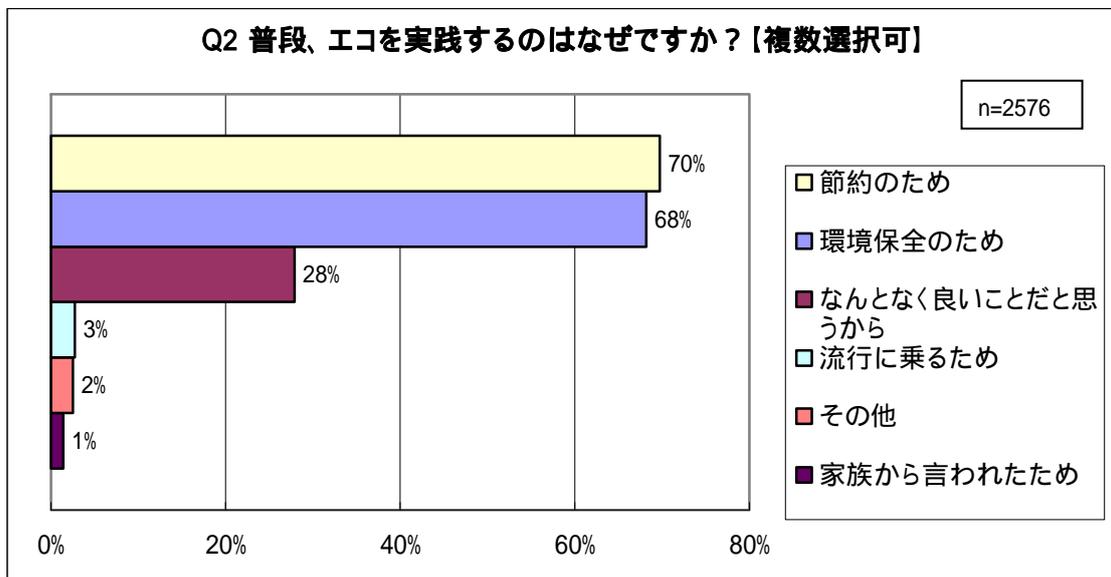


【年代別】Q1 普段、エコを実践していますか？(単一回答)

	20代	30代	40代	50代	60代
はい	75%	77%	80%	84%	90%
いいえ	25%	23%	20%	16%	10%

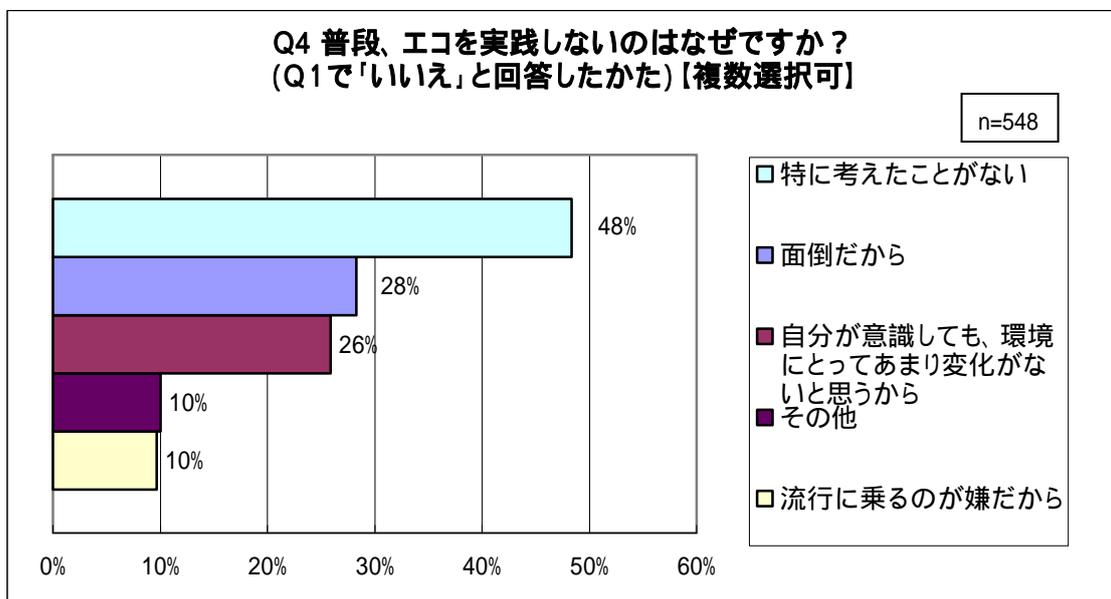
普段からエコを実践しているかたは82%となり、多くのかたがエコに取り組んでいることが明らかになりました。また、年代別で見ますと60代のかたが90%と最も高く、年代が上がるにつれてエコを実践する割合が高まることがわかりました。

エコを実践する理由【複数選択可】



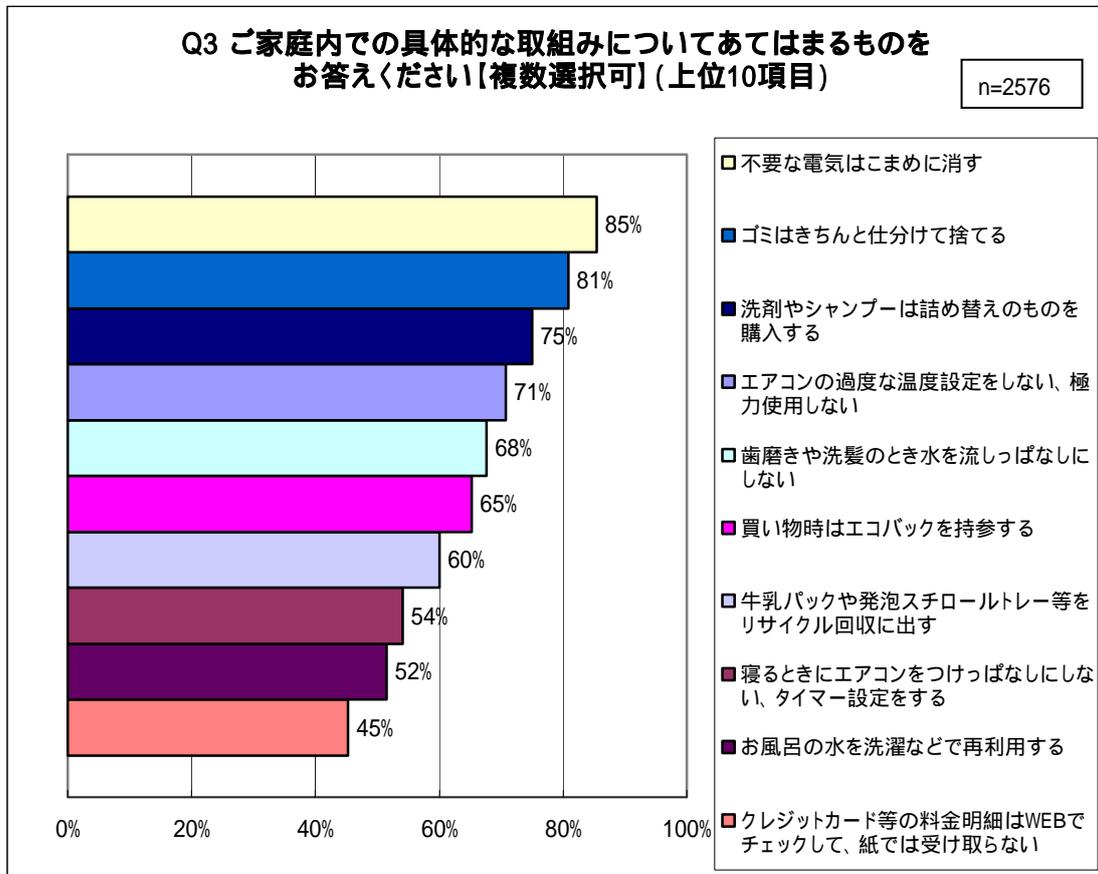
エコを実践する理由は「節約のため」が70%でトップとなり、「環境保全のため」(68%)を上回る結果となりました。

エコを実践しない理由 (Q1で「いいえ」と回答したかた)【複数選択可】



エコを実践しない理由は「特に考えたことがない」と答えたかたが最も多く48%、「面倒だから」と答えたかたが28%でした。

ご家庭での取組み【複数選択可】(上位10項目)



エコに対するご家庭での具体的な取組みをうかがったところ、手軽に実践でき、なおかつ節約にもつながる取組みが上位に多くランクインしました。

エコと聞いて連想する有名人【自由記述】

エコと聞いて連想する有名人(上位3名、敬称略)

	芸能人	回答者229人	スポーツ選手	回答者94人
1位	春日俊彰(オードリー)	21人	イチロー	47人
2位	松居一代	14人	石川遼	7人
3位	加藤清史郎	13人	野口健	6人

それぞれのかたを選んだ理由(抜粋)

春日俊彰さんを選んだ理由

- 「ものを無駄にしないから」
- 「節約を徹底しているから」
- 「質素な暮らしをしているようだから」

松居一代さんを選んだ理由

- 「手作りの道具で掃除をしているから」
- 「主婦目線でエコを実践していそうだから」

加藤清史郎さんを選んだ理由

- 「エコカーのCMをよく目にするから」
- 「エコカーを多くの人に勧めているから(CMで)」

イチローさんを選んだ理由

- 「エコに関係する様々なCMに出演しているから」
- 「無駄な力を抜いたバッティングはエコに通じると思うから」
- 「継続的に努力をしている姿がエコを連想させるから」

石川遼さんを選んだ理由

- 「さわやかでエコにぴったりだから」
- 「エコな生活を送っていそうだから(いつもきちんとしたイメージなので)」

野口健さんを選んだ理由

- 「富士山のクリーン運動に取り組んでいるから」
- 「山という過酷な状況でもごみ拾いを実践しているから」

「過剰なエコ」に関するエピソード

エコ意識の高まりから、多くのかたがエコに関する取組みを行っていることが今回の調査でも明らかになりましたが、中には「これはやりすぎでは...」といった取組みをするかたもいらっしゃるようです。

「エコだからといって余計なものまで買って、最後にはごみにしてしまう人がある。」(30代)

「トイレの換気扇をすぐ消してしまう上司。後に使う人のことも考えて...」(40代)

「会社の冷房温度設定が30度。いくらなんでもやりすぎ。」(20代)

また、周囲のかたの行動ではなく、ご自身が「やりすぎかな...」と感じている場合もあるようです。

「家中のコンセントをすべて抜いているため、製品によっては使うたびに設定をしている」(30代)

「使ったティッシュペーパーを乾かして再利用している」(60代)

「ベランダに口の開いたペットボトルを置いておき、雨水が溜まるとそれを洗濯に利用する」(30代)

この他にも様々なご意見が寄せられましたが、どれも興味深いものばかりでした。